

6月定例会

ここが聞きたい

市政をたず

一般質問

7月5日、7日の本会議では、質疑6名、一般質問13名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

その他の質問については、議会中継や、会議録検索システム(9月下旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を初めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

女性議員を増やすための施策は



高橋佐代子
(21 政会)

問 男女平等の男女共同参画社会をつくるため、政策決定の場に女性議員を送ろうとの動きが活発になっており、市長のマニフェストにも挙げられている。しかし、現実には日本の自治体における女性議員の割合は全体でわずか10.9%に過ぎず、全自治体の4分の1は女性議員がゼロ。政府が昨年末に決定した第3次男女共同参画基本計画で国政選候補者の一定割合を女性に割り当てるクォータ制の推進を打ち出したこともあり、この運動が活発になっているのは言うまでもない。

小野市では今回の統一地方選挙

で6名の女性が出馬し、議員定数16名のうち3名の女性議員が誕生した。これに関して市を挙げての取り組みがあったと聞く。女性の市政への関心を高めるため、女性会議、女性模擬議会を毎年実施するとともに、行政委員会への女性の積極的な登用により、女性の人材把握と環境の醸成に努めてきた結果、多数の女性議員が誕生したと言われている。

ぜひ加西市でも、複数の女性議員を誕生させるため、5名の当選を目標に4年間の計画で、本気になって取り組んでいただきたい。女性の市政への参加についてこれから加西市としてどのように取り組むのか。



答 女性が社会の中で発言権、責任、権限を持って行動されることが、地域を住みやすくする大きな手だてだと思っています。そのために市のあらゆる組織へ女性の参画を目指し、今後区長会等に順次お願いしたいと思っています。女性議員が誕生することは、地域の民主主義を量る指標だと思っており、4年後には5人の女性議員ができることを目標に、小野市の女性模擬議会が有効であれば、やりたいと思います。いろんなアイデアをいただいて、ぜひ頑張っていきたいと思います。

■その他の質問項目

- ・市長マニフェスト
- ・旧有線放送事業所